

講義名	流通概論			授業形態	
担当教員	村尾 俊一	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

### 主題と概要

当科目は全学必修科目である「流通科学入門」と一体となった科目です。「流通科学入門」において流通・マーケティングの問題に気づいていただき、それを学部専門科目においてどのように深く学ぶことができるのか、その構想しになるのがこの講義です。  
身近な事例を深く知ることを通じて、流通・マーケティングに関する事象や課題について理解するための基礎的概念を学びます。当科目を履修して流通・マーケティングに対する関心を高めた受講者が、さらに高度な知識や、分析能力を身につける専門課程の自科目を学ぶための基礎作りとなります。

### 到達目標

流通・マーケティング論に関する基礎的な専門用語の理解を身につける。

### 提出課題

中間試験と、期末試験を実施します。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

通常授業では、課題や小テストなどを、理解を深めるために実施します。

### 評価の基準

中間試験（または中間レポート）：50点  
期末試験（または期末レポート）：50点

### 履修にあたっての注意・助言他

当科目は「流通科学入門」と一体となった講義です。したがって、すでに「流通科学入門」を履修（もしくはこの二つの講義を同時に履修する）ことが前提となった講義内容であることを留意ください。  
\*履修登録自体は「流通科学入門」を履修していなくても可能です。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

.使用しない。

### その他

毎回の講義において、事前に読むべき資料があります。（「流通科学入門」と同じ資料です。）各自でダウンロードして予習したうえで、講義にのぞんでください。

### 授業計画

1. 目の前に広がる流通の世界
2. 商店街と大型店
3. コンビニとドラッグストア
4. 小売業で活躍する人材
5. 店舗での顧客との価値協創
6. 実店舗とバーチャル店舗
7. 中間試験
8. ブランド
9. 流通とマーケティング
10. ITの発展と流通・マーケティング
11. インターネットのコミュニティ
12. グローバルとローカル
13. ソーシャル・マーケティング
14. 街づくりと商業
15. 街をあるいてみよう

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

\* 各回の講義資料「のぞいてみよう流通の世界」の予習 各1時間×14回 = 14時間  
\* 各回の講義内容の復習 各30分×15回 = 7時間30分  
\* 中間レポートの作成 4時間  
\* 期末レポートの作成 4時間半  
合計30時間

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、特に本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において、講義を構成している。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

クリッカー（レスポンス）を使い、課題や小テストを実施する。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。世界最大のマーケティングコミュニケーション企業PPHの中核企業「ウォルター・トンプソン（現ワンダーマン・トンプソン）」において30年以上の営業と、クリエイティブ部門の経験があります。世界のブランドに対して行った、広告、戦略、広報、クリエイティブ、イベント、プロモーションの経験を講義に生かします。

### 備考

新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正がある場合があります。  
濃厚接触者、感染者にはレポート等の対応をすることがあります。